



安心・安全・住み良い須磨の街づくりに全力投球！

神戸市会議員 **大井としひろ**

参議院選挙は、「みずおか俊一」さんを応援しています。

すがすがしい風の便りとともに、春の訪れが感じられる今日この頃ですが、いかががお過ごしでしょうか。

平成十六年度当初予算案を審査する第一回定例会は、三月二十九日予算案及び関連議案六十件を承認し閉会しました。

国の三位一体の改革で、神戸市予算は、大幅な国庫補助金の縮減や地方交付税の見直しにより、百八十億円の歳入不足となりました。

今回の予算市会の特徴は、「三位一体の改革」の一年目で大幅な地方交付税の削減の中で編成された予算の審議であった。

小泉内閣の地方切捨て、そして国の借金を地方に付回すのが、「小泉・三位一体改革」の正体です。（詳細は、別掲「参照ください」）

予算特別委員会代表質問しました。保健福祉局及び環境局に対し民主党を代表して当局に対して質問を行いました。

保健福祉局関係では、①高病原性鳥インフルエンザに対する、情報公開と食の安全について②ふれあいのまちづくり事業について③ユニバーサルデザインに対する取り組みについて④児童館の民営化のメリット・デメリットについて⑤JR須磨駅のバリアフリーについて⑥投産製品の支援について⑦健康づくりについて、の七点について、質疑を行いました。

環境局関係では、①高病原性鳥インフルエンザ等の問題で神戸港に留め置きとなっている食肉の処分について②ごみの発生抑制について③容器包装リサイクル法について④ISO14001の取得について⑤自動車公害対策について⑥ごみステーションの水道検設置助成について、の六点について、当局の姿勢を質しました。

当局よりJR須磨駅のバリアフリー化について、平成十七年度中にエレベーター3基を整備と回答を得る。

JR須磨駅のバリアフリー化について、「今回の予算に計上されていない。地域

の方々の気持ちも思うと一日でも早く実現するよう、当局からJRに働きかけを行っていたらいい。現在、市とJRとの協議の中で須磨駅のバリアフリー化について、具体的な内容及び完成時期など、どのように話し合われているのかお伺いしたい。」との私の質問に対し、当局より「新駅を担当する都市計画総局とともに、再度JRへ要望を行い、二月に返事があり、JRとしては、現在行っている三宮・神戸駅の工事の目途がついたことで、新駅（仮称・須磨海浜公園前駅・イメージ図参照）を平成十六・十七・十八年度の三ヶ年で工事をするという目途もついた。

須磨駅について、新駅より先にということで早ければ十七年度中という返事がJRから返ってきた。

具体的にはエレベーター2基、地元住民から要望の強かった北側の歩道までのエレベーター1基も合わせて整備するとJRから伺っている。

神戸市として、バリアフリーの一環としてエレベーターだけでなくスロープ等も協議していきたい。」との答弁を引きだしました。

議員になって一年が経ちました。市民相談も100件を越えました。

安心・安全・住みよい 須磨のまちづくりに全力投球！
着実に誠実にお応えしています。

市民の皆様からいただいた貴重な声を神戸市政にお届けしています。

- 地下鉄妙法寺駅前バスターミナルの歩道の整備「綺麗に安全になりました」
- JR須磨駅のバリアフリー化 平成17年度中に整備される。（別掲ご参照）



- 北落合3丁目自治会より 街灯の整備について
- 若草町自治会より ごみステーション水道栓設置の助成について
- 名谷駅前駐輪場について
- 白川台センター前バス停の階段について
- 奥須磨公園のフナつりについて
- 私道舗装助成について
- 自宅前の電柱移設について
- 信号機設置の要望について ● バス路線について
- 生活保護の件 ● 神戸市営住宅の件
- 介護保険の件 ● 歩道のバリアフリーについて

等など、市民の皆様からいただきました貴重なご意見やご要望・市民相談事項をコツコツと解決させていただいています。

何事によらず お気軽に、まず「大井としひろ」にご相談ください。



新駅「須磨海浜公園前駅（仮称）」南北横断歩道橋の整備イメージ図
松風町4・5丁目あたり



市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

何事によらずご相談下さい
神戸市会議員
大井としひろ

〒654-0132
神戸市須磨区多井畑南町22-15
TEL-FAX 743-6155
メールアドレス
Kabe-001@leto.eonet.ne.jp

毎週駅前にてご挨拶をしております。お気軽にお声掛けください。（8:45～8:30）
月曜日：地下鉄名谷駅、水曜日：地下鉄妙法寺駅
金曜日：JR須磨駅

民主党の要望事項

— 予算承認にあたって —

1 三位一体改革については、真の地方自治の確立と分権推進の観点から、早期に基幹税の税源移譲の確立に努めること。国庫補助負担金及び地方交付税の廃止・縮減については、地方が自主的な財政運営が出来る措置を行うよう強く国に働きかけること。

2 医療産業都市構想の推進にあたっては、「アジアのメディカルセンター」構想の実現に関係機関・団体と協働して推進すること。また、がんセンターなど専門の機関の集積を計り、医療クラスター作りへと産業集積を計ること。



臨床研究情報センター (TRI)

個人の体質に応じた治療や再生医療等を実施するための臨床研究の情報拠点

3 観光交流都市神戸の実現に向けて、神戸が医療と健康と福祉のメッカとしての地位を確立し、港在型のまちづくりに取り組みすること。また、「観光アクションプラン」の推進については、具体的年次実行計画を作成して、実行・点検総括、見直し再実行計画のサイクルの確立をはかると共に、民間活力の導入などを通じて、3,000万人目標達成に努めること。

4 安心・安全のまちづくりに向け、早期に神戸市救急需要対策懇談会での検討を行い、住民は勿論のこと、観光客が安心して神戸で過ごすことが出来る体制を整備すること。神戸空港ターミナルの駐車場料金については、空港島の集客力を高めることや、

5 空港利用者の利便性等を考慮して無料化に向けて検討を行うこと。

6 個性ある教育の推進については、教員の資質向上と教科書の適正選択など教員の教材研究意欲を高め、時代にあった教育の実現を推進すること。

7 中小企業共同化グループの育成にあたっては、「神戸リエゾン・ネットワークの構築」の推進とあわせ、グループ内の活性化と、「産学官民」の連携を一層強化すること。



神戸空港完成予想図

その他、「IT」の普及・拡大について、市内授産製品の販売支援について、児童虐待防止対策について、ウォーターフロントの活性化とPCR1-4の再整備について、新神戸トンネルの利用促進策について、地下鉄海岸線の乗客増対策等について」等々について要望を行いました。

民主党参議院兵庫県第2総支部代表

みずおか 俊一さん (48歳)

民主党神戸市会議員団と 政策懇談会で活発に意見交換

予算定例会開会中の3月15日、今夏の参議院選挙に兵庫選挙区より立候補を予定している「みずおか 俊一」とさんと政策懇談会を開催しました。今議会では、政府の三位一体改革によって神戸市予算は180億円もの影響を受けたとおり、真の地方分権と財政再建の確立のためには、我が会派の意見と国とをつなぐパイプをこれまで以上に太くする必要があり、各政策について活発な意見交換を行いました。

「みずおか俊一」さんからは「私も一人の神戸市民として神戸の将来に大きな夢を持っている。教員としての経験と若さを生かして地域の発展に貢献していきたい。」と力強く抱負を語り、全議員と今後の活躍を誓い合いました。



みずおか俊一さんを囲んで

〈みずおか俊一氏経歴〉

- 1956年 兵庫県城崎町生まれ、豊岡小、豊岡南中、豊岡高卒
- 1980年 国立奈良教育大学卒業、三木市立志染中学校教諭となる
- 1986年 インド、ニューデリー日本人学校教諭として赴任
- 1992年 兵庫県教職員組合執行委員
- 2000年 兵庫教育文化研究所事務局長
- 2004年 ひょうご芸術文化センター、兵庫県民大学等の役員を歴任



▼▼▼ 予算委員会審議から ▼▼▼ 崎元祐治議員が総括質疑

第一分科会から第三分科会にわかれてそれぞれ局別の審査を行い、それでもなお解明できない課題等について市長、助役への総括質疑が三月十七日行われ、民主党議員団は崎元祐治議員（須磨区）が総括質疑に臨みました。総括質疑と局別審査での主な質疑のポイントは次の通りです。

「日本一観光客が訪れる街」をめざして



崎元議員は①真の地方分権を推進する観点からの市長の決意について②がんセンターの誘致について③観光アクションプランの推進について④都心ウォーターフロントの活性化について⑤教員の資質向上について⑥公の施設に関する指定管理者制度について、の六点を中心に市長に質しました。観光アクションプランについては、組織改正された「観光局」を中心に民間と連携して強力な取り組みをすべくたと質したのに対し矢田市長は「仕掛けと情報発信の繰り返し効果を上げる」と答えました。都心ウォーターフロントのアクセスについては「シンドニーにある水陸両用バスや



総括質疑に立つ崎元祐治議員

局別審査での主なQ&A

シンガポールにあるロープウェイなど国内外に誇れる観光資源の造成を提言しました。

平日の駐車場利用促進について 「頭打ち料金制」を拡大

Q 駐車場マネジメント実験として、ワンコイン制や鈴蘭台駐車場等で頭打ち料金の設定が行われている。他の駐車場も追加できないか。

A 長時間利用者の頭打ち料金は、利用時間が長くなっても一日の最大料金が決まっていることによる割安感や安心感が、利用増につながったと思われるので全駐車場に導入したい。三宮、三宮中央通り、花隈駐車場は平日のみとし、その他は平日・休日とも頭打ち料金を設定する。三宮、三宮中央通りは一日最大千五百円、その他は千円と考えている。

健康を業しむまちづくりについて 滞在型のしかけづくりに努める

Q 医療産業都市構想では研究のみに留まらず神戸の立地をいかした滞在型の治療施設や健康施設を誘致してはどうか。

A 健康サービス産業モデル都市構想のモデルとして、単に医療だけでなく温泉プログラムに加え、タラントラバーや森林浴等を加え、観光振興と兼ねた産業化プログラムが提案されている。神戸の魅力である有馬温泉や六甲山、須磨や舞子などの景勝地ともあわせながらリラクゼーション施設の誘致を行いたい。



予算特別委員長を務める田中健造議員

児童虐待に対する学校の対応は

Q 教師は虐待の一番身近な発見者となるケースが多い。他にもクラスにたくさんいる問題を抱えた上に、責任を負うことになる虐待であるかどうかを見極める判断力も必要だが、学校の対応は。

A 教師は4月の検診、服装、給食の食べ方などを注意して見るようにしている。このような実践によって早期発見に努めている。おかしいなと思う児童については担任だけでなく、複数の教師が見るようにし学校の中で情報を共有している。教員が一番身近にいるが、虐待を防ぐには、警察、児童相談所、区役所の保健部、教育委員会の四者の連携が大切である。

四分別収集の市民への対応は



Q 昨年十一月から全区で実施されている「資源」区分（缶・ビン、ペットボトル）の収集の実施状況はどうなっているのか。リサイクルは進んでいるのか。四分別収集の市民へのPRの取り組みはどうするの。

A 一月の「資源」収集量は全市で八二〇トンであり、前年同月比約四倍となり、どの区においても飛躍的に増加している。秋頃からはじまる来年度の四分別確立については、収集内容が大きく変わるため、地域へ直接出向くこととあわせ、広報誌やパンフレット等

で従来にないビジュアルに訴えるキャンペーンを実施したい。



「灯かりのいえなみ協定」の状況は

Q 「灯かりのいえなみ協定」の現在の取り組み状況について、又、今後この協定制度をどのように展開し、まちづくりに活かしていくのか。

A 「通りに面した部屋の明かりは夜九時までつけておく」「門灯や玄関灯は夜十一時まで点灯する」など夜間における照明のルールを「市民協定」として結ぶもので、今のところ新聞地で締結しただけである。現在は市街地やニュータウンなど、まちの特性が違っていくかの地域で市民・専門家・行政が一体となってモデル的に取り組んでいる。今後は住民自身が「自分たちのまちは自分たちで守っていく」という意識が根付くよう、地域の「ミニコミュニティ」に積極的な支援を行い、住民主体のまちづくりに活かしていきたい。

可決された意見書

第一回定例会で可決された意見書は次のとおりです。

- 国から地方への税源移譲を基本とする三位一体改革の実現を求める意見書
- 容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書
- 容器包装リサイクル法を改正し、収集・分別・保管の費用を製品価格に含めること及びリデュース・リユース・リサイクルの優先順位で推進する様々な経済的手法や規制的手法（容器課徴金、デポジット制度、自動販売機規制など）を盛り込むこと。
- 消費者保護基本法の抜本的改正を求める意見書
- 「消費者の権利」の明記と「消費者団体訴訟制度」導入のための根拠規定を盛り込むこと。



民主党

神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161

平成16年度
当初予算

厳しい中にも 市民の安全・安心 神戸の活力をめざして

平成十六年度当初予算等を審査する第一回定例会市会は三月二十九日予算案及び関連議案合計92議案を可決し閉会しました。予算特別委員会委員長には民主党の田中健造議員（北区）が就任しました。民主党は代表質疑に白井洋二議員（兵庫区）が立ち、①高病原性鳥インフルエンザの危機管理体制について、②市財政基盤の早期の健全な立直しとしての行財政改善について、③医療産業都市構想の更なる充実にについて、④神戸観光の振興について等々を中心に市長に質しました。

白井洋二議員が代表質疑

「三位一体」財政に影響 収入減百八十億円

震災十年を控え、復興の総仕上げとなる平成十六年度当初予算は総額二兆九百十五億円と、前年比三・二％増だが、借金返済にあたる公債費分を差し引くと、実質

一・二％のマイナス予算である。市税収入の七年連続減少に加え、国の三位一体改革に伴う地方交付税削減などの収入減が百八十億円に上り、平成十八年までの三年間は引き続き厳しい予算編成を強いられることとなります。国の三位一体改革についての評価や、今後の対応について質問したところ、

矢田市長は「所得増と

税による暫定的な措置

になっており、真の税

源移譲とは言い難い。

平成十八年度まで続く

となれば、深刻な影響が予想される。基礎的、必需的な住民サービスを守るために必要不可欠な基幹税による税源の移譲を国に強く求めたい」と言及しました。



代表質疑に立つ白井洋二議員と田路裕規副議長

中央市民病院の将来像は 「ボーアイ二期が望ましい」

神戸経済の早期の活性化対策として有効な役割を果たす「神戸医療産業都市構想」は着実に進展し、成果を上げていますが、更なる将来の発展・充実を図るためのグラウンドデザインをこの時期に策定し、強力に推進していく必要があると見ます。そこで民主党は中央市民病院の移転構想について市長に質したのに対し、市長は「より良質な医療を市民に提供すると同時に、医療産業都市構想を推進するために、ポートアイランド二期に移転新築することが望ましい。」として初めて現地立替えより移転が望ましい、との見解を示しました。

鳥インフルエンザ 「市民に不安」と市長陳謝

兵庫県八千代町の食肉処理場から出荷された鶏肉が、すでに流通・消費された問題で、県などとの情報連絡に不備があった点など危機管理に対し不安が高まっていると指摘した民主党に対し、矢田市長は「市民の安心安全な暮らしを守る、という観点から情報の把握が十分でなく、市民に大変不安を与えた。今後このようなことがないよう、緊密な体制をとって取り組んでいきたい。」と陳謝しました。

神戸市予算の ポイント

- 復興の総括・検証を具体化
一五三〇億円
- 地域見守り活動の充実
（「T活用」による高齢者の見守りサービス等）
二二億円
- 中小企業融資の継続・拡充
六〇三億円
- 復興区画整理事業の前倒し
一三三億円
- 震災十年神戸からの発信」の推進
三億円
- 外部評価を受けての事業の見直し
三五事業一三億円削減
- 生活保護世帯夏・冬見舞金の廃止
- 敬老祝いの支給
年齢の見直し
（八八歳と百歳のみ）
- 保育料、施設料金などの値上げ
- 児童館の運営を民間委託
- 生活関連分野に重点配分
特別枠四五億円で一七〇事業
保育所受け入れ枠拡大
七五〇人分
- LID児などの教育支援センター開設
- 救急医療機関の
夜間・休日電話案内
- 観光関連事業
九四事業十一億円
- メリケンパークの再整備
フラワーロードの美化対策
- 税収
七年連続減少
市税二四四五億円

